

お金のスタートレーニング



2019年度 報告

～児童養護施設でのお金の教育の必要性～

はじめに

東京スター銀行では…

貧困問題 × 金融リテラシー に取り組んでいます

「子どもの貧困」に関しては、低学歴、孤独、不健康など様々な複合的な不利を抱え、大人になっても貧困から抜け出せない「貧困の世代間連鎖」が特に問題となっています。

当行では、様々なNPOや施設の方とお話をする中で

「金融リテラシー」が連鎖を防ぐ重要な糸口になると仮説を立てました。

貧困下にある家庭では親の金銭感覚の乱れ・知識の欠如が子どもにも影響しており、子どもの将来をおびやかすことが危ぶまれていたからです。同様に児童養護施設等の子どもも、将来の家計管理や将来設計が難しいことも分かってきました。

NPOの声

周囲の影響や教育機会が不足しているために、子どもたちも金銭感覚が身につかず、トラブルが起こりやすい。

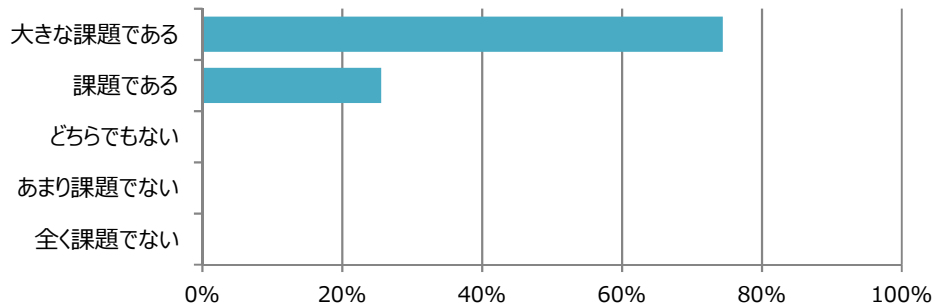
私たちの目的

子どもたちが将来、自律的な「収支管理・ライフプランの立案・職業選択」をでき、自信と希望を持って、職業生活・家庭生活を送ることができる社会を目指します。

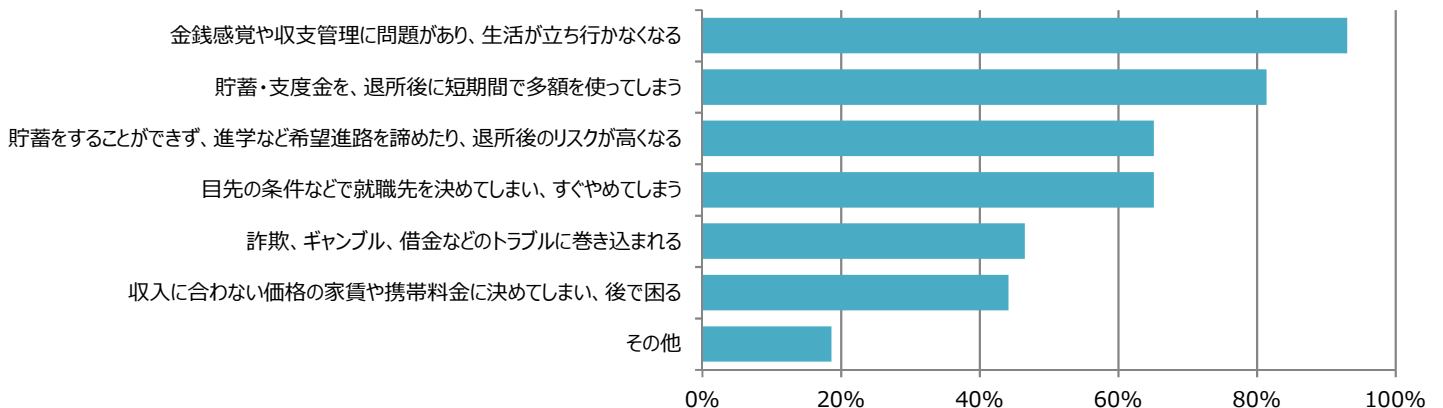
はじめに

多くの児童養護施設職員が、児童の自立に向けて、金融リテラシーの課題を感じています。

Q：「児童の自立に向けて、金銭管理や金銭トラブルなど「お金の問題」は課題だと思いますか？」
→ 全員の回答者が、「お金の問題」を課題だと感じていました。



Q：「児童の自立において、見聞きしたことがあるものをお答えください」
→ 多くの回答者が、児童の自立を阻害する複数のトラブルを見聞きしていました。



Q：お金のトラブルに関する自由回答

入所中に身丈に合った金銭感覚が身につかない。そのため、退所後にも同じ感覚で使い込んでしまうところがある。

施設の生活において守られてきた環境から、全てを自分でやっていかなくてはいけないことは想像以上に困難。

就職したと同時に保護者からのアクションがありその結果金銭を搾取されることがある。友人を繋ぎ留めておくためにおごったりしてしまうことにも問題がある。

金銭感覚が十分に育たないまま大きな金額を持ってしまったこと、施設内の生活で制限されていたものが卒園で全て取り払われた解放感から、浪費をしてしまったのではないかと感じる。

東京スター銀行の「お金のスタートレーニング」

東京スター銀行では、貧困解決を目的として、体系的に、かつ楽しく、お金のスキルを高める講座を実施しています。

2019年度の実施概要

対象団体 困難な状況にある子どもへの支援を行っているNPO、施設など

実施内容 小学生向け・中高生向けの2種類の講座

実施回数 13回

実施人数 238名の小中高生・養育者（過去累計約760名）

※上記の他、地域貢献として、小学校や東京スター銀行の支店等でも実施しております



その他の活動

施設職員向けのアンケート調査を実施

児童養護施設の職員の皆さまにご協力いただき、「お金の教育」「金融リテラシー」に関するお声を集めました。

当行ホームページから、調査結果をご覧ください。

http://www.tokyostarbank.co.jp/profile/about/csr/kintore/pdf/document_3-3.pdf

初めてNPOスタッフさんが金トレ講師に挑戦！

毎年、金トレを実施させていただいているNPO法人キッズドアさまが、講座のうちキャリアに関するパートの講師を担当していただけることになりました！東京スター銀行の金トレ講座は、「家庭で教えられる」をコンセプトにしています。対象団体さまで、講師に挑戦されたい方は、ぜひお知らせください。

東京スター銀行の「お金のスタートレーニング」

ホームページでの情報発信

当行ホームページに、皆さんに参考にしていただけるよう

“金トレお役立ち情報”の資料集を掲載いたしました。

<http://www.tokyostarbank.co.jp/profile/about/csr/kintore/index.html#cts06>



里親家庭のお金の教育講座を実施

児童相談所にご協力いただき、初めて里親の皆さま向けに、家庭でできるお金の教育について講座を行いました。



雑誌「wacca」へコラム寄稿

一般社団法人青少年自助自立支援機構が発行する冊子「wacca」に、金銭管理に関する連載コラム(2回目)を寄稿しました。

※「wacca」に関する情報はこちら

<http://compass-navi.or.jp/release/61.html>



＜事例紹介＞ 東京都の児童養護施設さま

東京都のある児童養護施設さまにて、2018年より連続で金トレを実施させていただいています。2019年は、夏休みを利用して、午前は小学生向け、午後は中学生向けに実施しました。

－ お金の教育に関する課題や取組みは？

当施設では3年ほど前から、自立した後の退所者がお金のやりくりでつまづいて、計画的に使えないことが多い問題に対応するようになりました。

それまでは児童から要望があるごとにお金を出して日常のものを購入してもらっていましたが、中高生は自分で見通しが持てるようにするため、学年ごとに定めた年間予算を超えないように、年間と月ごとの計画をだしてもらうようにしました。小学生や手の空いた児童に対しては、これより以前から、食事の買い物などに出来るだけ連れ出して「これは〇円だね」「3個入りは安いね」という会話をしたり、文房具の購入費用を書きとめさせたりするなど、日常での取組みを行ってきました。また、自立前には、退所後の支出の配分を一緒に考えたり、支度金の振り込みを月ごとにするかなど児童の個性を協議するなど、一人ひとり面談を通して確認するようにしています。

－ 応募のきっかけは？

自立支援コーディネーターが集まる委員会で、東京スター銀行が金融教育の実施施設を募集していることを知りました。中高生の様々なセミナーは外部NPOの協力で実施していましたが、お金に特化したセミナーは実施したことがありませんでした。また、小学生は集団での学習自体が初めてだったので、それもよい機会と考え、依頼しました。

－ 金トレを実施してみているかがですか？

中高生は、お金のことに特化して考える良い機会となりました。小学生向けも、かしまったお勉強というより、ゲーム形式だったり、実際のお金の技術を見ることができたり、子どもたちが盛り上がり、入りこむことができました。事前に丁寧な打ち合わせをさせてもらい、短縮版にするなど、ニーズや児童の特性に合わせて実施してもらったのが良かったです。小学生向けの集団学習もイメージがついたことで、今後のハードルが下がりました。

児童も、おこづかい帳を喜んで使ったり、帰ってから職員にこんな話を聞いたなど話題にする場面もありました。

－ 金融教育の効果はありますか？

2年連続で実施することで、抜け落ちてしまうことも復習できたり、職員も日常で「セミナーでこういう話したよね」と話すなど、日常での教育が定着しつつあります。

当施設で3年間実施してきたことも、効果が出てきているように思います。中高生が1年間の予算計画を見通すなどは最初は面倒そうでしたが、3年もたつとお小遣いが貯まってきたり、見通しができるようになってきました。

今後も、このようなお金の教育を続けていく予定です。

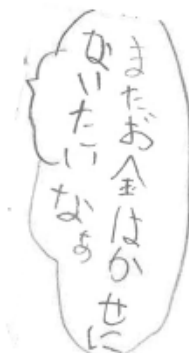
<事例紹介> 東京都の児童養護施設さま

金融教育実施後の、皆さまからの声を抜粋して紹介します。

小学生向け



分かりやすくて丁度良かったです！😊
丁度良かったです。おもしろかったです



先生



- ちょうどむだ遣いをしてしまう児童が参加しており、今回のセミナーをきっかけに“本当に必要なもの”と“欲しいけどいらぬもの”等と買う前に考えてもらえると嬉しい。「〇〇が欲しい。」と言われたときに一緒に考えていきたい。子どもの質問や言動にたくさん反応していただき、子どもも嬉しそうでした。ありがとうございました。
- お金、お札の実物をじっくり見る、ブラックライトで見る体験をあまりしないので、非常によい経験となりました。クイズに関しては簡単すぎた子もいたようですが、全員にやる気を持たせていく意味でも簡単でよかったようにも思います。
- 低学年の子どもたちが多かったので、体験型の講座が心をつかんでいました。みんな楽しく学べました。

中学生向け



今日お金の使い方、将来の節約がどうなるかのイメージが、
また金トレをしてみたい。

ともかく、楽しく学ぶことができて良かったです😊😊

こういうセミナーはあまりないので、参加できてとても良かったです。

先生



- 積極的に発言する子が少ない中で明るく話しかけ、さまざまな形でアプローチしていただき、子どもたちも意外と参加できていたと思います。
- お金の使い方や仕事について考える良い機会となりました。絵、イラストが多くてイメージしやすかったように思います。
- 自信がなく将来のことを明るく思い描くことが苦手な児童も多いですが引き続きこのような機会を設けて知識を入れたり考えさせたりしていただけるとありがたいです。
- 資料をもとに分かりやすい説明があったので難しい内容でもついていけたと思います。
- 中学生はやはり子供の参加意欲や態度がそろわず、難しいところが多かったと思います。それでも必要な内容だったので、お話いただき本当にありがとうございました！